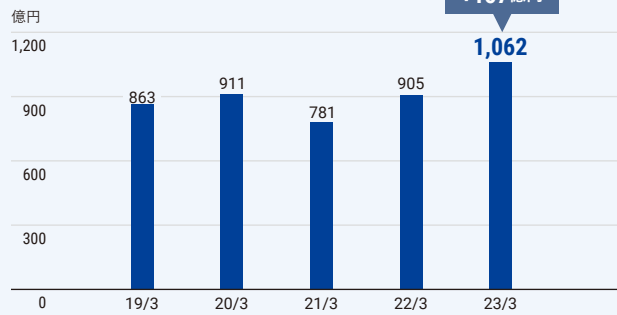


パフォーマンスハイライト

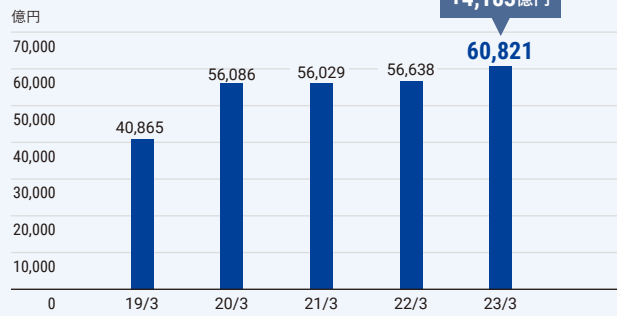
財務情報

経常利益



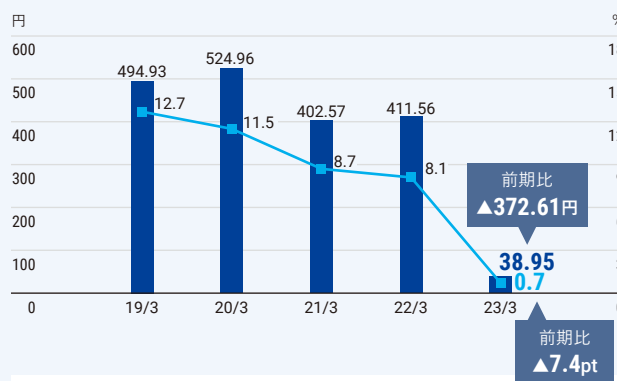
増減要因 経常利益は、スペシャルティ事業とオートモビリティ事業を主因として前期比157億円の増益となるも、親会社株主に帰属する当期純利益はスペシャルティ事業の航空機関連でロシアの航空会社向け損失を計上し前期比455億円の大幅な減益となりました。

総資産



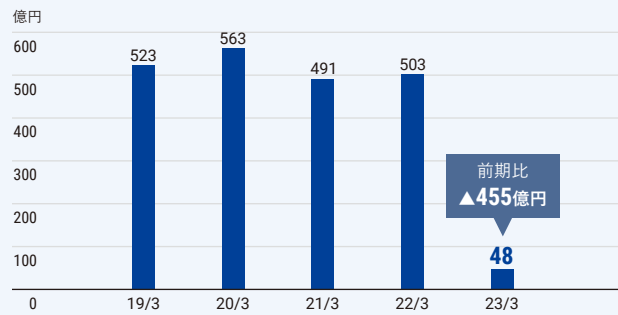
増減要因 総資産は、円安などによるスペシャルティ事業、国際事業における残高の増加が寄与し前期末比4,183億円の増加、ROAは親会社株主に帰属する当期純利益の減益を主因に前期比0.8pt減少しました。

1株当たり当期純利益／ROE(自己資本当期純利益率)

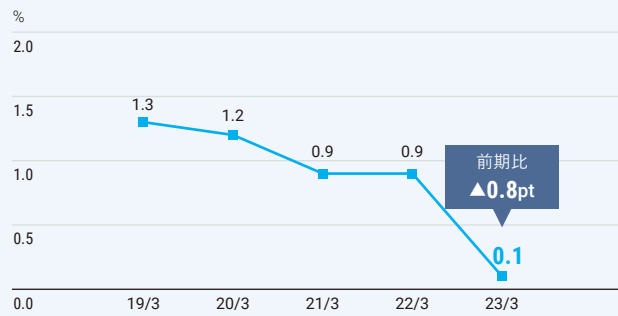


増減要因 ROEは、円安による為替換算調整勘定の増加と親会社株主に帰属する当期純利益の減益を主因として前期比7.4pt減少しました。有利子負債は、前期末比2,673億円増加しました。

親会社株主に帰属する当期純利益



ROA(総資産純利益率)



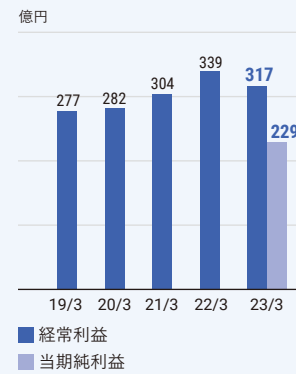
有利子負債



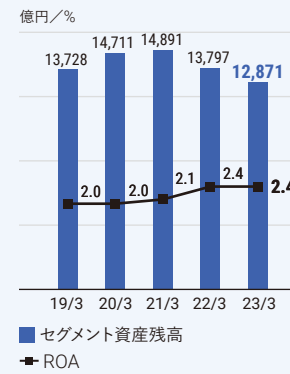
事業分野別実績

国内リース事業分野

経常利益／当期純利益*1



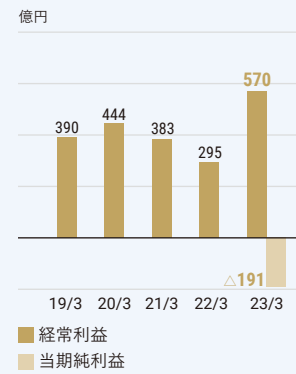
セグメント資産残高／ROA*2



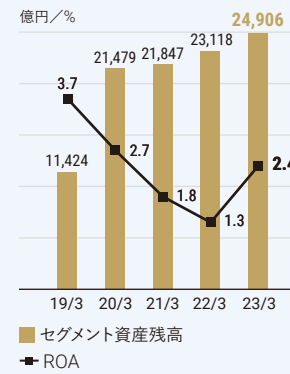
2022年度は、環境インフラ事業分野への実績移管後の数値を記載。

スペシャルティ事業分野

経常利益／当期純利益*1



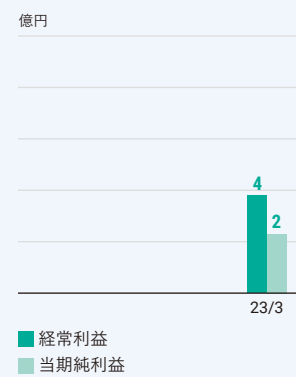
セグメント資産残高／ROA*2



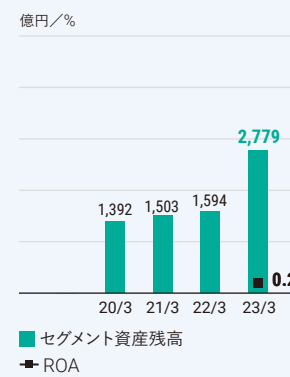
2022年度は、環境インフラ事業分野への実績移管後の数値を記載。

環境インフラ事業分野

経常利益／当期純利益*1



セグメント資産残高／ROA*2



各利益、ROAは2023年3月期、セグメント資産残高は2020年3月期以降を記載。

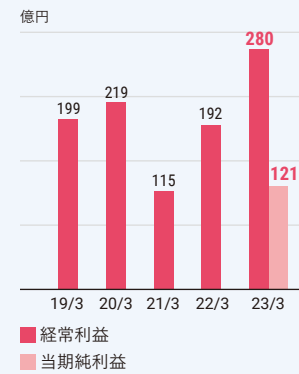
*1 親会社株主に帰属する当期純利益(2022年度から開示)

*2 セグメント資産経常利益率

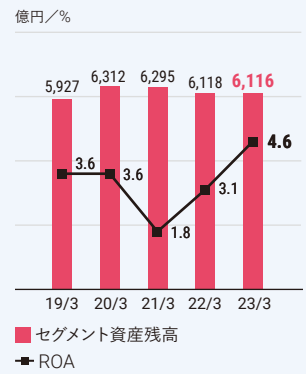
※ 非財務情報は、サステナビリティデータブックをご参照ください。🌐 <https://www.tokyocentury.co.jp/jp/sustainability/databook/>

オートモビリティ事業分野

経常利益／当期純利益*1

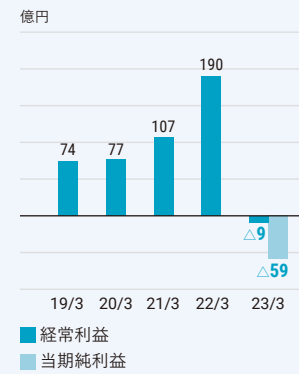


セグメント資産残高／ROA*2



国際事業分野

経常利益／当期純利益*1



セグメント資産残高／ROA*2

